

# 小委員会の調査報告書

教科名	社会科	委員長名 本間一臣
調査研究の経過	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を7月2日(木)に、稚内市役所正庁で開催し、社会科小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 7月3日(金)から7月14日(火)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月15日(水)に、稚内総合文化センター小ホールで開催し、報告書の作成を行った。</p> <p>なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、                  地理は、東書・教出・帝国・日文の4者である。                  歴史は、東書・教出・清水・帝国・日文・自由社・育鵬社の7者である。                  公民は、東書・教出・清水・帝国・日文・自由社・育鵬社の7者である。                  地図は、東書・帝国の2者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱内容」について                  (2) 「内容の構成・排列・分量等」について                  (3) 「使用上の配慮等」について</p>	
調査研究に当たった際の配慮事項	<p>次の点に配慮して調査研究を進めた。</p> <p>1 「取扱内容」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。                  (2) 知識・技能の習得、活用、探究に対応できるよう、既に学習した内容の系統的な反復学習や練習問題などによる繰り返し学習に関する内容、観察・実験やレポートの作成に関する内容、他教科との関連する内容、補充的な学習や発展的な学習に関する内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>2 「内容の構成・排列・分量等」について</p> <p>(1) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的・発展的に組織されているか。                  (2) 内容の分量が、各分野や各領域等ごと、全体としてどのようになっているか。</p> <p>3 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 生徒の学習意欲を高める工夫がされているか。                  (2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫がされているか。                  (3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p>	
少数意見その他	<p>特記事項なし</p>	

様式 2

教科名		社会科 (地理的分野)					
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号	
		東京書籍	新しい社会 地理	725	教育出版	中学社会地理地域にまなぶ	726
取扱内容	<p>○地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界の諸地域」において、世界の6つの州ごとに地形や気候、人口分布等から州ごとの特色を大まかにとらえたり、アジア州では、「急速に進む成長と変化」という主題を設けて地理的特色を理解する活動。</li> <li>・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分し、北海道の自然環境や気候の視点から、火山活動が活発な九州を環境問題や環境保全の観点から取り上げるなど、それぞれの地域の特色を概観し、テーマを絞って考察する活動。</li> </ul> <p>○知識・技能の習得、活用、探求への対応については章末や説末に、学習したことを文章でまとめたり、説明する言語活動を位置づけるなど、知識・技能を活用し理解を深めるための活動が取り上げられている。</p>			<p>○地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界の諸地域」において、世界の6つの州ごとに地勢や気候、民族、宗教の分布図等から州ごとの特色を大まかにとらえたり、アジア州では「多様性と経済発展」という主題を設けて地理的特色を理解する活動。</li> <li>・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分し、北海道の自然環境や開拓などの視点から、火山活動が活発な九州を環境問題や環境保全の観点から取り上げるなど、それぞれの地域の特色を概観し、テーマを絞って考察する活動。</li> </ul> <p>○知識・技能の習得、活用、探求への対応については、章末に、学習したことを比較し関連付けてまとめたり、説明したりする活動を位置づけるなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列・分量等	<p>○内容の構成・排列、分量については「世界の様々な地域の調査」においては調査結果の考察をまとめ、発表する学習の後に、「身近な地域の調査」において、身につけたまとめ方を活用するなど、系統・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については「世界の様々な地域」は122ページ、「日本の様々な地域」は155ページであり、総ページは295ページで、前回より約12%増となっている。</p>			<p>○内容の構成・排列、分量については「世界の様々な地域の調査」においては調査結果の考察をまとめ、発表する学習の後に、「身近な地域の調査」において、身につけたまとめ方を活用するなど、系統・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については「世界の様々な地域」は114ページ、「日本の様々な地域」は141ページであり、総ページは279ページで、前回と同様になっている。(B5判からA B版に変更)</p>			
使用上の配慮等	<p>○生徒の学習意欲を高め主体的に学習に取り組む工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の分野や各教科等との関連が図られるよう工夫がされており、学習の広がりをもたしている。</li> <li>・発展的な内容のコーナーのネーミングは、親しみやすくしようという配慮がされている。</li> </ul>			<p>○生徒の学習意欲を高め主体的に学習に取り組む工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読み解こう」や「ふりかえる」で、学習したことを文章でまとめたり説明する言語活動を位置づけるなど、知識・技能を活用し理解を深めるための活動が取り上げられている。</li> </ul>			
その他							

様式 2

教科名		社会科（地理的分野）				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		帝国書院	中学生の地理	727	日本文教出版	中学校社会地理的分野
取扱内容	<p>○地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界の諸地域」において、世界の6つの州ごとに自然や気候、人口分布等から州ごとの特色を大まかにとらえたり、アジア州では「巨大な人口と急速な発展に注目して」という主題を設けて地理的特色を理解する活動。</li> <li>・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分し、九州地方を自然環境の観点から、北海道の農業・漁業・観光を歴史的背景の観点から、九州地方を自然環境の観点から取り上げるなど、それぞれの地域の特色を概観し、テーマを絞って考察する活動</li> </ul> <p>○知識技能の習得、活用、探求への対応については、節末に、学習したことを図や文章でまとめたり、説明したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>			<p>○地理的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界の諸地域」において、世界の6つの州ごとに主な国の地形や首都、気候区分等から州ごとの地域特色を大まかにとらえたり、アジア州では「経済成長による社会の変化」という主題を設けて地理的特色を理解する活動</li> <li>・「日本の諸地域」において、日本を7つの地方に区分し、九州地方を環境問題や環境保全の観点から、北海道を農業・漁業・観光を自然環境の観点から取り上げるなど、それぞれの地域の特色を概観し、テーマを絞って考察する活動</li> </ul> <p>○知識・技能の習得、活用、探求への対応については、章末に、学習したことを比較し関連付けてまとめたり、説明したりする活動を位置づけるなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>		
内容の構成・排列・分量等	<p>○内容の構成・排列、分量については「世界の様々な地域の調査」においては調査結果の考察をまとめ、発表する学習の後に、「身近な地域の調査」において、身につけたまとめ方を活用するなど、系統・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については「世界の様々な地域」は118ページ、「日本の様々な地域」は157ページであり、総ページは280ページで、前回と同様になっている。（B5判からAB版に変更）</p>			<p>○内容の構成・排列、分量については「世界の様々な地域の調査」において、調査結果をまとめ、発表する学習の後に、「身近な地域の調査」において、身につけたまとめ方を活用するなど、系統・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については「世界の様々な地域」は112ページ、「日本の様々な地域」は156ページであり、総ページは281ページで、前回より8%減となっている。（B5判からAB版に変更）</p>		
使用上の配慮等	<p>○生徒の学習意欲を高め主体的に学習に取り組む工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の分野や各教科等との関連が図られるよう工夫がされており、学習の広がりをもたしている。</li> <li>・「確認しよう」「説明しよう」では、より理解を深めるための振り返り学習に取り組みやすくしようという配慮がされている。</li> </ul>			<p>○生徒の学習意欲を高め主体的に学習に取り組む工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の分野や各教科等との関連が図られるよう工夫がされており、学習の広がりをもたしている。</li> <li>・「スキルUP」「トライ」ではより理解を深めるための振り返り学習に取り組みやすくしようという配慮がされている。</li> </ul>		
その他						

様式 2

教科名		社会(歴史的分野)				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		東京書籍	新編 新しい社会 歴史	729	教育出版	中学社会 歴史
取扱内容	<p>○歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「古代までの日本」において、旧石器時代と新石器時代について道具、食べ物、生活の観点から違いをまとめたりする活動。</li> <li>・「中世の日本」において、平氏の政治と摂関政治を比較して共通点や違いについて整理する活動。</li> <li>・「近世の日本」において、織田信長と豊臣秀吉が行った政治について戦国時代の政策と比較してまとめたりする活動。</li> <li>・「近代の日本と世界」において、ペリー来航後、アメリカとの間で結ばれた条約について日本にとって不利な点をまとめたりする活動。</li> </ul> <p>○知識・技能の習得、活用、探求への対応については、「この時代の特色をとらえよう」において、時代を大きく動かした出来事を比較表や新聞、年表を用いてまとめたりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>			<p>○歴史的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「古代までの日本」において、世界の古代文明について共通する特色を整理したりする活動。</li> <li>・「中世の日本」において、室町文化の中から現代に伝わるものを取り上げ室町文化の特色を説明したりする活動。</li> <li>・「近世の日本」において、元禄文化と化政文化の共通点や時代背景の違いについて説明したりする活動。</li> <li>・「近代の日本と世界」において、第一次世界大戦後に国際社会で起きた大きな動きをあげて大戦前との違いを説明したりする活動。</li> </ul> <p>○知識・技能の習得、活用、探求への対応については、「学習のまとめと表現」において、それぞれの時代の特色について考えたことを説明したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>		
内容の構成・排列・分量等	<p>○内容の構成・排列については、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、「歴史のとらえ方」は14ページ、「古代までの日本」は44ページ、「中世の日本」は34ページ、「近世の日本」は44ページ、「近代の日本と世界」は98ページ、「現代の日本と世界」は37ページであり、総ページ数は271ページで、前回より約9%増となっている。</p>			<p>○内容の構成・排列については、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、「歴史のとらえ方」は9ページ、「古代までの日本」は38ページ、「中世の日本」は34ページ、「近世の日本」は44ページ、「近代の日本と世界」は104ページ、「現代の日本と世界」は32ページであり、総ページ数は261ページで、前回より約2%増となっている。(B5判からA B判に変更)</p>		
使用上の配慮等	<p>○学習意欲を高め主体的に取り組む工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌの人たちの歴史や文化については、「蝦夷錦を着たアイヌの首長」の図版、幕末から明治時代の北海道の様子については「屯田兵による開拓」の写真を取り上げている。</li> <li>・「歴史スキル・アップ」において、様々な歴史の学習の仕方を提示している。</li> </ul> <p>○使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の歴史を世界の動きと関連付けて学習できる年表を掲載している他、学習を深めることができるよう、巻頭に「日本の国宝・重要文化財」、巻末に「各地の主な史跡」を掲載している。</li> </ul>			<p>○学習意欲を高め主体的に取り組む工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌの人たちの歴史や文化については、「シャクシャインの像」の写真、幕末から明治時代の北海道の様子については「屯田兵による開拓」の写真を取り上げている。</li> <li>・「時代の変化に着目しよう」において、学習を広げ深める課題を提示している。</li> </ul> <p>○使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の歴史を世界の動きと関連付けて学習できる年表を掲載している他、学習項目を深めることができるよう、巻頭に「歴史のなかの言葉」、巻末に「各地の遺跡・史跡・できごと」を掲載している。</li> </ul>		
その他						



様式 2

教科名		社会科 (歴史的分野)				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		日本文協出版	中学社会 歴史的分野	歴史・733	自由社	中学社会 新しい歴史教科書
取扱内容	<p>○歴史分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史のとらえ方」において、小学校で学習した人物・出来事の代表的なものをワークシートにまとめたり、発表したりする活動。</li> <li>・「古代までの日本」において、古代文明について共通点や異なる点を整理したり、新・旧石器時代の特色についてまとめたりする活動。</li> <li>・「近世の日本」において、信長と秀吉の政治についてまとめたり、江戸時代の二つの文化の特色を説明したりする活動。</li> <li>・「現代の日本と世界」において、高度経済成長による国民生活の変化や冷戦後の国際社会の動きと日本の関わりを説明したりする活動。</li> </ul> <p>○知識・技能の習得、活用、探求への対応については、「学習の活用」において、出来事を年表や地図にまとめるなど、知識・技能を活用する活動が取り上げられている。</p>			<p>○歴史分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史のとらえ方」において、小学校で学習した人物についてカードや伝記にまとめたり、身近な地域の歴史について調べ発表したりする活動。</li> <li>・「中世の日本」において、平氏の政治と摂関政治の共通点を整理したり、室町文化を取り上げその特色について説明したりする活動。</li> <li>・「近代の日本と世界」において、開国時に結ばれた条約の問題点や第一次大戦後の処理の問題点について説明したりする活動。</li> <li>・「現代の日本と世界」において、高度経済成長について説明したり、共産主義が崩壊した理由と冷戦の終結の過程について説明したりする活動。</li> </ul> <p>○知識・技能の習得、活用、探求への対応については、「章のまとめ」において、時代の特色を「ひとこと」作文にまとめるなど、知識・技能を活用する活動が取り上げられている。</p>		
内容の構成・排列・分量	<p>○内容の構成・排列については、歴史の学び方について学習した後に、時代区分ごとに、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できる工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、「歴史のとらえ方」は8ページ、「古代までの日本は」44ページ、「中世の日本」は38ページ、「近世の日本」は50ページ、「近代の日本と世界」は98ページ、「現代の日本と世界」は36ページ、総ページ数は274ページで、前回より約4%の増となっている。(B5判からA4判に変更)</p>			<p>○内容の構成・排列については、歴史の学び方について学習した後に、時代区分ごとに、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できる工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、「歴史のとらえ方」は18ページ、「古代までの日本は」56ページ、「中世の日本」は28ページ、「近世の日本」は44ページ、「近代の日本と世界」は98ページ、「現代の日本と世界」は29ページ、総ページ数は273ページで、前回より約4%の増となっている。</p>		
使用上の配慮等	<p>○学習意欲を高め主体的に取り組む工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌ民族の歴史・文化に関し「シャクシャインの戦いの関係図」、幕末から明治時代の北海道の様子について「屯田兵による開拓」の写真を取り上げている。</li> <li>・「図版の内容を読み取る視点」や「系図の見方」「発表の仕方」を提示している。</li> </ul> <p>○使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本と世界の歴史を関連づける年表を掲載している他、巻頭・巻末に「国県対照と五畿七道」「教科書に出てくる主な出来事・史跡」を掲載している。</li> </ul>			<p>○学習意欲を高め主体的に取り組む工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌ民族に関し「松前藩とアイヌの人々の交易の儀式を復元した模型」の写真、幕末から明治時代の北海道の様子について「屯田兵による開拓」の図版を取り上げている。</li> <li>・「様々な歴史の学習方法」や「単元の学習を広める課題」を提示している。</li> </ul> <p>○使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本と世界の歴史を関連づける年表を掲載している他、巻頭・巻末に「日本の伝統的工芸品」「年号と西暦の早見表」等を掲載している。</li> </ul>		
その他						

様式2

教科名		社会科 (歴史的分野)				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
	育鵬社	中学社会 新しい日本の歴史	歴史・735			
取扱内容	<p>○歴史分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史のとらえ方」において、小学校で学習した人物についてカードにまとめたり、身近な地域の歴史について調査・発表したりする活動。</li> <li>・「中世の日本」において、鎌倉幕府と律令政治の仕組みを比較・整理したり、室町文化の中で今も暮らしに生きているものをまとめたりする活動。</li> <li>・「近世の日本」において、信長と秀吉の政治についてまとめたり、江戸時代後期文化について代表する人物をあげ説明したりする活動。</li> <li>・「現代の日本と世界」において、高度経済成長による経済や生活の変化、冷戦後の地域紛争の様子とグローバル化について説明したりする活動。</li> </ul> <p>○知識・技能の習得、活用、探求への対応については、「学習のまとめ」において、出来事をキャッチフレーズにまとめたり、知識・技能を活用する活動が取り上げられている。</p>					
内容の構成・排列・分量等	<p>○内容の構成・排列については、歴史の学び方について学習した後に、時代区分ごとに、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できる工夫がなされている。</p> <p>○「内容の分量については、「歴史のとらえ方」は8ページ、「古代までの日本は」52ページ、「中世の日本」は32ページ、「近世の日本」は54ページ、「近代の日本と世界」は98ページ、「現代の日本と世界」は33ページ、総ページ数は277ページで、前回より約11%の増となっている。(B5判からA B判に変更)</p>					
使用上の配慮等	<p>○学習意欲を高め主体的に取り組む工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌ民族に関し「アイヌオムシヤ」の図版、幕末から明治時代の北海道の様子について「屯田兵による開拓」の図版を取り上げている。</li> <li>・「調査の仕方やまとめ方」「学習を広げ深める課題」を提示している。</li> </ul> <p>○使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本と世界の歴史を関連づける年表を掲載している他、巻頭・巻末に「日本芸品」「各地の主な遺跡・史跡」を掲載している。</li> </ul>					
その他						

様式 2

教科名		社会 (公民的分野)				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		東京書籍	新編 新しい社会 公民	929	教育出版	中学社会 公民 ともに生きる
取扱内容	<p>○公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちと経済」において、コンビニエンスストアの経営者の視点で思考を深めたり、消費生活を営む上での責任や問題点を身近な自分たちの生活と関わらせて考えたり、説明したりする活動。</li> <li>・「私たちと国際社会の諸課題」において、現代の地域紛争や貧困問題、資源エネルギー問題を取り上げ、国家機構や日本の役割について考察したり、持続可能な社会の形成をテーマに、レポート作成や発表したりする活動。</li> </ul> <p>○知識・技能の習得、活用、探求への対応については、見開きの「確認」において、言語活動を通して説明する等、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>			<p>○公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちと現代社会」において、情報化社会の課題やグローバル化への対応を取り上げ、統計資料を比較したり、問題を追及したり説明したりする活動。</li> <li>・「私たちと政治」において、えん罪問題や監視カメラの設置、ハンセン病問題を取り上げ、人権について考察したり、裁判員裁判の模擬裁判を取り上げ、公正な裁判の保障について調査する活動</li> </ul> <p>○知識・技能の習得、活用、探求への対応については、各領域の「さらにステップアップ」において、言語活動を通して表現するなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>		
内容の構成・排列・分量等	<p>○内容の構成・排列については、「現代社会と私たちの生活」において、社会をとらえる見方、考え方の基礎を学習した後に政治・経済を排列し、系統的発展的に学習する工夫がされている。</p> <p>○内容の分量については、「私たちと現代社会」は28ページ、「私たちと経済」は50ページ、「私たちと政治」は84ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は46ページであり、総ページ数は247ページで前回より約15%増となっている。</p>			<p>○内容の構成・排列については、「現代社会と私たちの生活」において、社会をとらえる見方、考え方の基礎を学習した後に、政治・経済を排列し、系統的発展的に学習する工夫がされている。</p> <p>○内容の分量については、「私たちと現代社会」は22ページ、「私たちと経済」は60ページ、「私たちと政治」は84ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は38ページであり、総ページ数は248ページで前回より約2%増となっている。(B5判からA B判に変更)</p>		
使用上の配慮等	<p>○学習意欲を高め主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章の導入に、見通しをもたせる重要語句を掲載するページを設けたり、小單元ごとに学習課題に関連づける見出しを付けている。</li> <li>・「公民にチャレンジ」「公民にアクセス」「深めよう」「ためしてみよう」を設け、視野を広げたり深めたりできるように工夫されている。</li> </ul> <p>○使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自学学習に配慮し、巻頭に教科書で使われているマークの説明を設けている。</li> <li>・巻末には、分野間の学習の関連が図られるように年表を掲載したり、すぐに重要語句が検索できるようにさくいんが設けられている。</li> </ul>			<p>○学習意欲を高め主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章の導入に、見通しをもたせる「はじめに」のページを設けたり、小單元ごとに学習課題に関連づける見出しを付けている。</li> <li>・「読み解こう」「公民の窓」「ふりかえる」を設け、学習が深められるように工夫されている。</li> </ul> <p>○使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自学学習に配慮し、巻頭に教科書の使い方の説明が設けられている。</li> <li>・巻頭には、分野間の学習の関連が図られるように「日本と世界の歩み」の年表が掲載されている。</li> </ul>		
その他						

様式2

教科名		社会 (公民的分野)				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		清水書院	中学 公民 日本の社会と世界	931	帝国書院	社会科 中学生の公民
取扱内容	<p>○公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちと現代社会」において、グローバル化の時代や高齢化社会を取り上げ、地理的・歴史的分野の事例と関連を図りながら、資料を比較したり、課題を追求し、説明したりする活動</li> <li>・「私たちの政治」において、自由権や参政権、平等権を取り上げ、基本的人権の意味を考えたり、地域の活性化や裁判員制度の意義を取り上げ、地方自治の考え方や公正な裁判の保障について調べたり発表したりする活動</li> </ul> <p>○知識・技能の習得、活用、探究への対応については、巻末の「卒業論文を書いてみよう」において、学習内容を言語活動を通して発表するなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>			<p>○公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちと政治」において、インターネットと人権を取り上げ、基本的人権の意味を考察したり、中高生による議会、裁判の判決を考える事例を取り上げ、地方自治の考え方や公正な裁判の保障について調査する活動。</li> <li>・「私たちと国際社会の諸課題」において、自衛隊による国際協力や地球温暖化とその国際的な対応を取り上げ、国家間の相互の主権の尊重と協力、国際機構の役割について考察したり、レポートを作成したりする活動。</li> </ul> <p>○知識・技能の習得、活用、探究への対応については、巻末の「学習をふりかえろう」において、学習内容を言語活動を通して表現するなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>		
内容の構成・排列・分量等	<p>○内容の構成・排列については、「私たちと現代社会」において、社会をとらえる見方、考え方の基礎を学習した後、政治・経済を排列し、系統的・発展的に学習する工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、「私たちと現代社会」は28ページ、「私たちと経済」は62ページ、「私たちと政治」は74ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は28ページであり、総ページ数は223ページで前回より約3%増となっている。</p>			<p>○内容の構成・排列については、「私たちと現代社会」において現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後、政治・経済を配列し、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については「私たちと現代社会」は28ページ、「私たちと経済」は60ページ、「私たちと政治」は74ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は41ページであり、総ページ数は232ページで、前回より約5%減となっている。(B5判からA5判に変更)</p>		
使用上の配慮等	<p>○学習意欲を高め主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「もっと知りたい公民」や「補足説明」を設け、視野を広げ、学習を深められるようになっている。</li> <li>・学習に関連するテーマを解説する「深める公民」を掲載している。</li> </ul> <p>○使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に教科書内のマークの説明を設け、自学学習ができるようにしている。</li> <li>・巻末に年表を掲載し、分野間の学習との関連を図っている。</li> </ul>			<p>○学習意欲を高め主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章の導入に学習の見通しをもたせる「学習の前に」のページを設けている。</li> <li>・さまざまな立場から話し合うための題材を提示する「トリアル公民」を掲載している。</li> </ul> <p>○使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きに「地理・歴史を振り返る」を掲載し、分野間の学習の関連を図っている。</li> </ul>		
その他						

様式2

教科名		社会 (公民的分野)				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		日本文教出版	中学社会 公民的分野	933	自由社	新しい公民教科書
取扱内容	<p>○公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちと経済」において、自由貿易に関する事例を取り上げ、判断した過程や結果をまとめたり、消費を支える生活、消費者主権を取り上げ、消費生活を営む上での自己責任を自分の生活とかかわらせて考え、説明したりする活動。</li> <li>・「私たちと政治」において、ネット社会とつき合う方法やバリアフリーの社会を取り上げ、地方自治の基本的な考え方や法に基づく公正な裁判の保障について考察したり調査したりする活動。</li> </ul> <p>○知識・技能の習得、活用、探究への対応については、各領域末の「チャレンジ公民」において、学習内容を言語活動を通して表現するなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>			<p>○公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちと現代社会」において、日本の人口ピラミッドの変化や文化の継承と創造を取り上げ、地理及び歴史的分野との関連を図りながら、写真や統計資料を比較したり、説明したりする活動。</li> <li>・「私たちと政治」において、新しい権利や権利の平等に関する問題を取り上げ、基本的人権の意味を考察したり、地方公共団体の役割、裁判員制度の事例を取り上げ、地方自治の基本的な考え方や法に基づく公正な裁判の保障について調査したりする活動。</li> </ul> <p>○知識・技能の習得、活用、探究への対応については、終章の「課題の探究」において、学習内容を言語活動を通して表現するなど知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>		
内容の構成・排列・分量等	<p>○内容の構成・排列については、「現代社会をとらえる見方や考え方」において現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後に、政治・経済を排列し、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については「私たちと現代社会」は30ページ、「私たちと経済」は55ページ、「私たちと政治」は89ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は43ページであり、総ページ数は249ページで、前回より約4%減となっている。(B5判からA4判に変更)</p>			<p>○内容の構成・排列については「個人と社会生活」において現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後に、政治・経済を配列し、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については「私たちと現代社会」は36ページ、「私たちと経済」は36ページ、「私たちと政治」は70ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は52ページであり、総ページ数は224ページで、前回と同様になっている。</p>		
使用上の配慮等	<p>○学習意欲を高め主体的に学習に取り組むことが出来るような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各編の導入に学習の見通しをもたせる「ナビ」のページを設けている。</li> <li>・広い視野から学習を深めることができるよう、「ズームイン」や「連携コーナー」を設けている。</li> </ul> <p>○使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての生徒が学習しやすいよう、振り仮名をゴシック体にするなど工夫されている。</li> </ul>			<p>○学習意欲を高め主体的に学習に取り組むことが出来るような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各見開きに、学習内容を解説する「ここがポイント！」を設けている。</li> <li>・広い視野から学習を深めることができるよう、「もっと知りたい」や「課題の探究」を設けている。</li> </ul> <p>○使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章末に「学習のまとめと発展」を掲載し、分野間の学習の関連を図っている。</li> </ul>		
その他						

様式2

教科名		社会 (公民的分野)				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
	育鵬社	新編 新しいみんなの公民	934			
取扱内容	<p>○公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちと経済」において、事業に対する銀行の融資に関する事例を取り上げ、判断した過程や結果をまとめたり、消費者の権利と保護を取り上げ、消費生活を営む上での責任を自分の生活とかわらせて考え説明したりする活動。</li> <li>・「私たちと政治」において、男女の平等と家族の価値や国際社会における人権を取り上げ、基本的人権の意味を考察したり、地域おこしの例や観光資源、裁判員になって判決を考える事例を取り上げ、地方自治の考え方や法に基づく公正な裁判の保障について調査したりする活動。</li> </ul> <p>○知識・技能の習得、活用、探究への対応については、巻末の「テーマを決めてレポートを作成しよう」において、学習内容を言語活動を通して表現するなど知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>					
内容の構成・排列・分量等	<p>○内容の構成・排列については「現代社会の文化と私たちの生活」において、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後に、政治経済を配列し、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については「私たちと現代社会」は34ページ、「私たちと経済」は50ページ、「私たちと政治」は70ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は45ページであり、総ページ数は248ページで、前回より約8%増となっている。(B5判からA5判に変更)</p>					
使用上の配慮等	<p>○学習意欲を高め主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章の導入に学習の見通しを持たせる「入り口」を設けている。</li> <li>・広い視野から学習を深めることができるよう、「理解を深めよう」や「考えよう」を設けている。</li> </ul> <p>○使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での自主学習に配慮し、巻末に学習に役立つウェブサイトを設けている。</li> </ul>					
その他						

様式2

教科名		社会 (地図)				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		東京書籍	新編 新しい社会 地図	723	帝国書院	中学校社会科地図
取扱内容	<p>○社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界全図」において、中心からの距離や方位が正しい地図と面積が正しい地図を比べたり、時差を調べたりする活動。</li> <li>・「日本地域別詳細図」において、世界遺産のある県を読み取ったりする活動。</li> <li>・「日本の資料図」において、地理的条件と産業の分布を関連づけて読み取ったり、日本の火山と地震の分布から、災害と向き合う方策を考えたりする活動。</li> </ul> <p>○知識・技能の習得、活用、探求への対応については、巻頭の「地図帳の活用方法」において、複数の資料図を結びつけてヨーロッパの自然環境や産業の特色を読み取ったりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>			<p>○社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界全図」において、地図と地球儀では大陸の形や大きさが異なることを調べたり、時差を調べたりする活動。</li> <li>・「日本地域別詳細図」において、高速交通網の整備と他地域との結びつきを読み取ったりする活動。</li> <li>・「日本の資料図」において、農業や工業の分布の特色を読み取ったり、日本の地震と火山の分布から、災害とその対策について調べたりする活動。</li> </ul> <p>○知識・技能の習得、活用、探求への対応については、巻頭の「地図帳の使い方」において、オセアニア州の資料図とグラフを関連づけてオーストラリアの自然や産業の特色を考えさせるなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>		
内容の構成・ 排列・ 分量等	<p>○内容の構成・排列については、一般図により諸地域を大観する学習の後に、各地域の自然や産業の様子などを示した資料図を、考察する視点に応じて選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、「世界の諸地域」は57ページ、「日本の諸地域」は63ページ、「資料・統計等」は60ページ、総ページは184ページで前回より約20%増となっている。(B5版からA4版に変更)</p>			<p>○内容の構成・排列については、基本図により諸地域を大観する学習の後に、環境問題や各地域の自然などを示した資料図を、考察する主題や生徒の興味・関心に応じて選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、「世界の諸地域」は59ページ、「日本の諸地域」は66ページ、「資料・統計等」は47ページ、総ページは176ページで前回より約7%増となっている。</p>		
使用上の 配慮等	<p>○学習意欲を高め主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道についての興味・関心を高めることができるよう、アイヌ語に由来する地名や北海道の産業などの資料図を掲載している。</li> <li>・関連する資料を活用して調べる方法を「ジャンプ」のマークで示している。</li> </ul> <p>○使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的分野や公民的分野でも活用できるよう、主な歴史の舞台や国際機関への参加国を地図上に示している。</li> <li>・全ての生徒が学習しやすいよう、振り仮名をゴシック体にするなど工夫されている。</li> </ul>			<p>○学習意欲を高め主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道についての興味・関心を高めることができるよう、アイヌ語地名やロシアとの国境の変遷の資料図を掲載している。</li> <li>・地図を活用して調べる方法や学習課題を「やってみよう」のマークで示している。</li> </ul> <p>○使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的分野や公民的分野でも活用できるよう、主な歴史地名や国際機関への参加国を地図上に示している。</li> <li>・全ての生徒が学習しやすいよう、地名に振り仮名を付すなど工夫されている。</li> </ul>		
その他						